

平成 26 年度 北海道小学校長会第 5 回理事研修会

北海道へき地・複式教育研究連盟 活動報告



3 点にわたってへき複連の状況について報告をする。

1 点目は、平成 26 年度の活動報告である。我々は研究団体であるので大きく二つの研究大会を中心に実施している。10 月に開催した全道の十勝大会と、9 月に宗谷プレ大会を開催している。会場校、連盟の加盟校はもちろんだが、近隣の学校の皆様にも大変お世話になった。特に、各管内、各地区の校長先生方には尽力を賜り、充実した大会にすることができた。感謝を申し上げる。

2 点目は、27 年度の活動計画についてである。今年度、プレ大会を開催した宗谷地区が本大会を迎える。併せて、渡島の方でプレ大会を計画している。それぞれの地域で大会の準備に入っているが、各地区の校長先生には今年度同様にご支援、ご協力をお願いしたい。今後の研究大会開催予定についてであるが、平成 30 年度にプレ大会、平成 31 年度に本大会を根室で行う計画であった。しかし、根室地区の加盟校が著しく減少し、大会の開催が困難であるということで 10 月に話し合っている。加盟校が減少の一途という現状の中で、今後の研究大会の在り方を抜本的に見直すということで組織検討委員会を立ち上げて、準備を進めているところである。その動きによっては、各地区の校長会の皆様にご支援、ご協力をいただくことになるかもしれない。そのときはよろしくお願いします。

3 点目は、へき地・複式教育の充実に向けた要望活動についてである。道小、道中、道公教と連携しながら、要望活動を繰り広げてきた。文科省には、「複式学級編制の標準の引き下げ」と「学校統合に係わる支援」を要望してきた。27 年度の予算概算要求には、「学校統合に係わる支援」については盛り込まれているようである。

学校統合が独り歩きしてしまっていて、これが統廃合の材料にされる懸念がある一方で、極小校の統廃合については、教頭が担任をもつなどの状況を考えると教諭の配置が 1 名でも増える学校にとってはありがたいことである。今後もへき地・複式教育の一層の充実に向け、要望活動を行っていきたい。校長会の皆様には引き続き協力を願いたい。